

「各務原市総合計画基本構想（素案）」に係る修正案一覧

資料2

○「総合計画審議会」、「総合計画特別委員会」などのご意見・ご提案事項を踏まえた修正案の一覧表です。
 ○表記のみの修正箇所については、記載を省略しています。

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
1	1頁	序論 1 総合計画策定の趣旨	<p>今、我が国は、本格的な人口減少社会の到来や少子・超高齢社会の進行、多発・激甚化する自然災害への対策、公共インフラの老朽化、環境・エネルギー問題など対応しなければならない課題が山積しています。</p> <p>加えて、人々の生活様式の変化など新型コロナウイルス感染症が及ぼした様々な影響、AIや自動運転等の最先端技術の急速な進展等、これまでの常識を覆すような社会変化が次々と生じ、将来を予測することが困難な時代を迎えています。</p> <p>こうした課題や変化に、市民、自治会、各種団体、NPO、企業、行政が、「オール各務原」で果敢に挑戦し、活力ある各務原の未来を創り上げていくため、中長期的なまちづくりの羅針盤として、本市のあるべき姿及び進むべき方向を掲げる、新たな総合計画を策定します。</p>	<p>「我が国は本格的な人口減少社会に突入しています。少子化がこれまでの予想を超えた速さで進む一方、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、日本の高齢者人口はピークを迎えます。本市においても同様に2010年をピークに人口は減少し、少子・超高齢化が確実に進んでいます。これは地域社会や国の存続そのものにかかわる問題であると言っても過言ではありません。</p> <p>また、多発、激甚化する自然災害への対策、公共インフラの老朽化、環境・エネルギー問題など、対応しなければならない課題が山積していますが、本市も例外ではありません。加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延や大規模な戦争の勃発、異例の物価上昇など、予測していなかった事態が次々と生じ、本市においても市民生活のあらゆる面に影響を及ぼしています。</p> <p>しかしながら、本市には、活力あるものづくり産業をはじめとする社会資本や地理的条件など、人々が生活し、働いていく上で、他のまちにはない恵まれた環境があります。このまちに愛着を持ち、この先もここで暮らしたいと思っている多くの市民がいます。社会経済情勢が目まぐるしく変化し、将来を予測することが益々困難になっていくと予想されますが、このまちで暮らす市民の生活を守り、活力ある各務原の未来を創り上げていくため、市民、自治会、各種団体、NPO、企業、行政等が連携し、「オール各務原」で取り組み、人口減少社会の中にあっても持続可能なまちをつくるための中長期的な羅針盤として、新たな総合計画を策定します。」に修正</p>	<p>・全国的な記述しかないため、各務原市についての記述を追加してほしい。</p> <p>・将来の市の姿をもう少し明るく未来ある言葉があると良い。</p> <p>・“我が国”で始まる文面で行くなら、世界情勢の不安定を示す言葉も、暗くなるけど入れておく方がよい。</p> <p>など</p> <p>※意見・提案を踏まえ修正</p>
2	3頁	序論 3 総合計画策定の基本方針 1つ目の●	<p>計画期間よりもさらに一歩先の将来（2040年）にかけて想定される変化・課題を見据えて、少子化対策を重点に、現時点から取り組むべき施策の方向性を示します。</p>	<p>「計画期間よりもさらに一歩先の将来（2040年頃）にかけて想定される社会経済情勢の変化・課題を見据えて、特に人口減少に打ち勝つための少子化対策を重点として、総合計画策定時から取り組むべき施策の方向性を示します。」に修正</p>	<p>※少子化対策について、重要視しているため強調</p>
3	4頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 説明文	<p>2040年頃にかけて想定される、社会経済情勢の変化・課題を整理します。</p> <p>これらの変化・課題は、全国的に生じることが想定されるものですが、本市においても、同様の変化・課題に直面する可能性があります。また、様々な変化・課題が複合的に絡み合ったり、国際情勢が不安定化することなどにより、過去に例を見ないほど複雑さが増すことも想定しておかなくてはなりません。</p>	<p>2040年頃にかけて想定される、我が国の社会経済情勢の変化・課題を整理します。</p> <p>これらの変化・課題は、全国的に生じることが想定されるものですが、本市においても、同様の変化・課題に直面する可能性があります。（※下線部が本市に想定される状況）</p> <p>また、様々な要因により、これ以上の変化が生じる可能性があることも想定しておかなくてはなりません。</p>	<p>※国と市の記載の明確化</p>
4	4頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■医療・介護	<p>○介護人材の需給ギャップが拡大する。</p>	<p>「○介護サービスにおいて生じている介護人材の不足がさらに顕著となる。」に修正</p>	<p>・「介護人材がさらに不足する。」としてはどうか。</p> <p>※意見・提案を参考に修正</p>

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
5	4頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■医療・介護	記載なし	「○在宅生活をする障がいのある高齢者は、現在の約342万人から約390万人に増加する。」を追記	・障がい者に関する記載を追加してはどうか。 ※公的な公表資料に基づき推計し追記
6	5頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■空間管理、治安・防災	○多様かつ巧妙なサイバー犯罪が増加する。	「○更なるICTの進展により、多様かつ巧妙なサイバー犯罪が増加する。」に修正	・稚拙で大胆な強盗などもあるため、「巧妙なサイバー犯罪や凶悪犯罪が増加」としてはどうか。 ※更なるICTの進展が前提にあることから修正
7	5頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■労働・産業・テクノロジー	○有効求人倍率が高い介護・看護・保育・建設・運輸などの業種は、労働力不足が見込まれる。	「○有効求人倍率が高い介護・看護・保育・建設・運輸などの業種は、将来的にも労働力不足が見込まれる。」に修正	・「特に労働力が不足する。」としてはどうか。 ※現状も労働力不足が生じていることを踏まえ修正
8	5頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■労働・産業・テクノロジー	○社会生活や経済活動において、人・モノの移動など様々な自動化、無人化が進んでいる。	「○社会生活や経済活動において、人・モノの移動、各種作業など様々な自動化、無人化が進んでいる。」に修正	・農業就業者数／従事者の減少は理解するが、新たな農業体系／作物（特産物）／スマート農業の進展も見込まれると考えるが追記してはどうか。 ※スマート農業のような省力・軽労化を念頭に修正
9	5頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■労働・産業・テクノロジー	記載なし	「○個人消費におけるキャッシュレス決済の割合が8割程度に進んでいる。」を追記	・「価値観の多様化」「キャッシュレス化の加速」も入れてはどうか。 ※「キャッシュレス化」について公表資料を参考に追記
10	5頁	序論 4 2040年頃の社会経済情勢の展望 ■環境保全・循環型社会	■循環型社会	「■環境保全・循環型社会」に修正 「○2040年までに、追加的なプラスチック汚染をゼロにすることが目標とされている。」を追記	・「■自然・環境保全、循環型社会」に修正 ・循環型社会は「資源や廃棄物に主眼を置いた概念」と思われる。カーボンニュートラル実現は国主導で取り組む重要な活動であると理解するが、環境or自然環境という文言を追加し、各務原市の自然環境の保全に関する記載を追加してはどうか。 ※国の方針などを参考に修正、追記
11	7頁	序論 5 各務原の良さ・強み	記載なし	項目を新設	・各務原市の強み弱みを明確にしていきたい。 ・各務原市の魅力を高めるというキーワードが必要。（地方都市の閉塞感の打破） など ※意見・提案を踏まえ項目を新設
12	8頁	序論 6 市民の声 説明文	記載なし	「本市にはどんな課題があり、どんなまちにしたいのかーこのまちに住み、学び、働く市民や関係する方々とともに、本市のより良い未来の姿を描くため、多くの貴重なご意見をお聴きしました。」を追記	※市民の声をお聴きした趣旨を追記
13	11頁	序論 6 市民の声 (2) 市民ワークショップ 説明文	市民の声を捉えた計画策定に向け、市の将来像等について多様な市民意見を集約することを目的に、市民ワークショップを開催しました。	「市民の声を捉えた計画策定に向け、市の将来像等について多様な市民意見を集約することを目的に、10歳代から70歳代の幅広い年齢層、様々な立場の方々による市民ワークショップを開催しました。」に修正	※参加者の補足情報を追記

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
14	15頁	第1編 基本構想 1 将来都市像	もっとながる みんなの笑顔があふれる 元気なまち ～しあわせ実感 かかみがはら～	もっとながる みんなの笑顔があふれる 元気なまち ～しあわせ実感 かかみがはら～	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながる」は非常に重要なキーワードで、中心に据えるのはよい。 ・最上位計画なので、漠然とした形でも言いたいことが分かるような形でよい。 ・基本目標が、全て「みんな」という言葉で始まっているので、「将来都市像」の「もっとながる」は、「みんなとつながる」というように、「将来都市像」にそれを言葉として持ってきたほうが分かりやすい。 ・語感が悪いと感じる。 ・主語的な言葉がないと何と何が誰がつながるのかわかりづらい。 ・将来都市像をわかりやすく示したい。 ・「もっとながる」はさらにつながることを適切に表現しており、前向きと捉えている。 など
15	15頁	第1編 基本構想 1 将来都市像	<p>もっとながる</p> <p>これまで、市民、自治会、各種団体、NPO、企業、行政が、「オール各務原」でまちづくりに取り組むことで、その礎を築いてきました。そして、総合計画後期基本計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）では「つながりづくり」を全体の取組み方針として掲げました。つながるのが課題解決の鍵であると考えたからです。その重要性はコロナ禍によってつながり断たれたことで、強く認識させられることとなりました。人はつながり求めています。この先も、どのような状況下でも、「つながり」は普遍的なものです。</p> <p>もっとながる笑顔があふれる元気なまちへ</p> <p>前総合計画では「笑顔があふれる元気なまち」を将来都市像に掲げ、まちづくりを着実に進めてきましたが、この先、2040年頃には、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となり、日本の高齢者人口がピークとなる「2040年問題」という、かつてない厳しい状況が確実に待ち受けているとともに、あらゆる環境が目まぐるしく変化し、先行きが不透明で、将来を予測することが困難な時代を迎えます。しかし、そういった先行きが不透明な状況であっても、どのような厳しい局面であっても、歩みを止めることはありません。多くの市民が自分のまちをより良くしたいという想いを持っているからです。</p> <p>まちづくりの目標は、市民が幸せであることです。その源は「笑顔」です。人と人がつながることで笑顔が生まれます。笑顔は周りの人へと広がり、さらに多くの人を元気に、そして、幸せにする力があります。市民一人ひとりが夢と希望を持てるまち、笑顔があふれ、幸せが実感できる元気なまちを目指します。</p>	<p>もっとながる みんながつながる</p> <p>「前・総合計画後期基本計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）では、「つながりづくり」を全分野共通の方針として掲げました。地域コミュニティ等の希薄化が進む中、複雑化、多様化する諸課題について、関係する人、地域など、各主体が個々に対応するのではなく、顔の見える関係を築き、つながりを作っていくこと、そして各施策を連携させていくことが、課題解決の鍵になると考えたからです。その矢先、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、「つながりづくり」は大きな制約を受けることになりましたが、それによって、私たちはつながり大切さをあらためて強く認識させられることとなりました。これまで、市民、自治会、各種団体、NPO、企業、行政等がつながり、「オール各務原」でまちづくりに取り組むことで、将来都市像として目指すまちの礎を築いてきましたが、この先も、どのような状況下でも、「つながり」なくしてまちづくりを進めることはできません。」に修正</p> <p>もっとながる 笑顔があふれる元気なまちへ</p> <p>「前・総合計画では、将来都市像として「笑顔があふれる元気なまち～しあわせ実感かかみがはら～」を掲げ、子どもたちの笑う声が響き、若者が生き生きと学び、働き、そして高齢者が安心して暮らすことのできるまちを目指して、市民の想い、声を形にしてきました。</p> <p>現在、多くの市民がまちへの愛着を感じ、住みやすいと感じていますが、特に福祉分野を中心に、依然として多くの課題が存在しています。加えて、今後も社会の変化とともに市民のニーズは変化し続け、それに伴って新たな課題が生じることでしょう。その解決の先にある市民の幸せ、市民の笑顔を思い描きながら、そしてこのまちを守り、より良くしていくために、市はあらゆる課題に対応していかなくてはなりません。</p> <p>先行きが不透明な時代だからこそ、「もっとながる」ことで、「もっとながる笑顔があふれる元気なまち」の実現を目指します。」に修正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来都市像」の「つながる」の解説を分かりやすくしていただきたい。 ・経済状況も大事である一方、もっとながりも大事だと丁寧に説明をしていくことが必要。 ・「つながり」づくりを基本とするなら、地域への愛着や帰属意識の希薄化はコロナ禍以前から進んでいるので、コロナ禍によって顕在化された根深い課題であることを表記した方がよい。 など

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
16	16頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標	本市はこれまで、多くの人たちの努力により発展を続けてきました。今後も目指す理想のまちの姿「しあわせを実感できるまち」の実現に向けた歩みを止めないためにも前総合計画を継承しつつ、さらに加速させる想いを込め「誇り～ひとを育む～」、「やさしさ～くらしを守る～」、「活力～まちを支える～」の3つを基本理念として掲げます。また、3つの基本理念につながるまちの姿として9つの基本目標を掲げ、それらに基づき基本計画において施策を展開していきます。	「 <u>基本理念</u> 」は、将来都市像の実現を目指す上で大切にしたい、 <u>まちづくりへの想い</u> です。 前・総合計画で掲げた、「 <u>誇り～新しい人づくり・地域づくり～</u> 」、「 <u>やさしさ～新しい安心づくり～</u> 」、「 <u>活力～新しい元気づくり～</u> 」の考え方を継承しつつ、大切にしたい <u>まちづくりへの想いを分かりやすく伝える</u> ため、「 <u>誇り～ひとを育む～</u> 」、「 <u>やさしさ～くらしを守る～</u> 」、「 <u>活力～まちを支える～</u> 」を基本理念として掲げます。 また、 <u>将来都市像を支える3つの基本理念に込めた想いを具現化するため、9つの基本目標を掲げます。</u> 」に修正	・理念と目標の関連性を分かりやすくしたい。 ・誇りは全部にかかってくる。 ※意見・提案を踏まえ、基本理念それぞれに3つずつの基本目標を紐づけるのではなく、将来都市像を3つの基本理念、9つの基本目標全てが下支えするように修正
17	16頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標 誇り～ひとを育む～	人は大きな可能性を持っています。その可能性はやがて夢となり、そして人生を豊かにします。人と夢を育み、一人ひとりが自分らしく輝き、誰もが躍動できるまちづくりを進めます。 また、顔の見える関係、こころのつながりを今まで以上に意識し、人と人、地域と地域がつながり、力を合わせて協働のまちづくりを進めます。	「 <u>各務原を元気にする原動力である市民一人ひとりが各務原の「誇り」であり、将来を担う子どもたちは各務原の「宝」です。すべての市民が大きな可能性を持っています。可能性は夢となり、人生を豊かにします。人と夢を育み、一人ひとりが自分らしく輝き、また、子どもたちが心豊かでたくましく育ち、誰もが主役で、躍動できるまちづくりを進めます。</u> 」に修正	・理念と目標の関連性を分かりやすくしたい。 ・基本目標2 子供施策が将来の各務原市を支える最重要課題。 ※意見・提案を踏まえ修正
18	16頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標 やさしさ～くらしを守る～	笑顔があふれる元気なまちをつくるには、人々の暮らしを守ること、そして安全・安心が欠かせません。安全な各務原だからこそ、いつまでも元気に、安心して暮らすことができ、誰一人として取り残さないまちづくりを進めます。	「 <u>笑顔があふれる元気なまちには、市民の「安全」と「安心」が欠かせません。子どもから高齢者まで、すべての市民が誰一人として取り残されることなく、いつまでも元気に、安心して暮らすことができる、やさしさにあふれたまちづくりを進めます。</u> 」に修正	・理念と目標の関連性を分かりやすくしたい。 ※意見・提案を踏まえ修正
19	16頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標 活力～まちを支える～	魅力や活気があふれるまちには多くの人が集います。「各務原ならではの」、そして「らしさ」をいつまでも継承しながら、各務原の地域資源を生かした魅力づくり、充実した生活を支える産業の活力づくり、便利で快適に暮らせる都市の基盤づくりを進めます。 「このまちに住みたい」「このまちに住み続けたい」という方々を増やすため、各務原の魅力を生かして創造・発掘し、市内外に発信することで、「選ばれた都市」を目指します。 また、どのような状況下にあっても、盤石の行政基盤のもと、安心できる行政サービスを持続的に提供し、魅力あるまちづくりを行うため、「縮充」を意識した行財政運営を進めます。	「 <u>活力、魅力のあるまちには多くの人が集います。「各務原ならではの」、「各務原らしさ」をいつまでも継承しながら、まちのにぎわいと活力を支える基盤づくりを進めます。</u> また、縮充※を意識しながら行財政運営を進め、どのような状況下にあっても <u>安定した行政サービスが提供できる持続可能なまちづくりを進めます。</u> ※人口減少下において、行政資源（ヒト・モノ・カネ）が縮小しても、様々な工夫により、多くの市民がサービスの充実感を得られるよう、その質の向上を追究すること。」に修正	・理念と目標の関連性を分かりやすくしたい。 ・「縮充」を補足するような表現を加えてはどうか。 ※意見・提案を踏まえ修正
20	17頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標	体系図 基本理念それぞれに3つずつの基本目標を紐づけ	体系図 将来都市像を基本理念、基本目標が下支えするように修正	※通番16の趣旨を反映
21	17頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標	基本目標4 みんなで守る自然豊かで美しいまち《環境》 基本目標5 みんなで支えあい健やかに暮らせるまち《健康・医療・福祉》 基本目標7 みんなが快適に暮らせる住みよいまち《基盤整備》 基本目標8 みんなで創るにぎわいと活力のあるまち《産業》	基本目標4 みんなで守る自然豊かで美しいまち《自然・環境》 基本目標5 みんなで支えあい健やかに暮らせるまち《健康・福祉》 基本目標7 みんなが快適に暮らせる住みよいまち《都市基盤整備》 基本目標8 みんなで創るにぎわいと活力のあるまち《産業》 に修正	※各基本目標を分かりやすく表記するため修正
22	18頁	第1編 基本構想 2 基本理念・基本目標	記載なし	基本目標ごとの説明文を追記	※各基本目標を説明するため追記

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
23	19頁	第1編 基本構想 3 まちづくり指標	記載なし	項目を新設	・人口目標より幸福度、住みやすさ 市民の声が大切ではないでしょうか。 ※意見・提案を踏まえ項目を新設
24	20頁	第1編 基本構想 4 将来人口 表題	3 人口の見通し	「4 将来人口」に修正	※「3 まちづくり指標」を追加したため修正
25	20頁	第1編 基本構想 4 将来人口 (1) 人口推移	本市の人口は、昭和55（1980）年以降も緩やかに増加してきましたが、平成22（2010）年をピークに減少に転じており、令和2（2020）年の人口は144,521人となっています。	「本市の人口は、昭和38（1963）年の市制施行から一貫して増加してきましたが、平成22（2010）年をピークに減少に転じており、令和2（2020）年の人口は144,521人となっています。」に修正	※市制施行を区切りとして修正
26	21頁	第1編 基本構想 4 将来人口 (1) 人口推移	記載なし	「地区別人口の推移」を追記	・地域別にどのようなまちになるのかを具体的に書いてもよい。 ・5地区あるが人口の構造的な分析もしていただいたほうがよい。 ※地区別人口の推移を追記
27	24頁	第1編 基本構想 4 将来人口 (4) 将来展望人口	人口減少・少子化対策を重点に、生活環境の充実や安全安心の向上、産業の活性化などまちの魅力をさらに高める取組の推進によって、…	「人口減少・少子化対策を重点に、生活環境の充実や安全安心の向上、産業の活性化や子育て支援の充実などまちの魅力をさらに高める取組の推進によって、…」に修正	※基本目標②で掲げている子どもに関する施策の充実も必要な視点であるため追記
28	24頁	第1編 基本構想 4 将来人口 (4) 将来展望人口	令和16年：140,000人	修正なし	・人口を増やす努力と共に、減らさない努力も必要。14万人はなかなか厳しいのではないかと。 ・目標人口14万人は、かなり困難な目標。人口増加を図ることは他の市町村からの移住を促すことになり、共存共栄の観点からも無理な指標は不要ではないかと。人口減少を受け入れた上で、質の向上を図ってほしい。 ・2つのシナリオ（シナリオ1：140,000人、シナリオ2：135,000人）があってもいいのではないかと。 など ※目標値として、原案通り

通番	資料の頁	該当項目	修正前	修正案	意見・提案事項 ※修正の趣旨
29	25頁	第1編 基本構想 5 土地利用の基本的な考え方 説明文	<p>本市は、東西に細長い地形で、北部に緩やかな丘陵地帯が連なり、南部には雄大な木曾川が流れ、中央部の市街地を桜並木とともに清流が流れる美しい自然環境に恵まれた都市です。土地は、市民が快適な生活を送り、自然や歴史・文化を守り、育み、地域の活力を生み出す舞台であるとともに、生活の基盤となる限りある大切な資源です。</p> <p>土地利用について、従来は、限りある資源を有効利用する視点から、つくることを中心とした考えかであったが、人口減少に伴い土地需要が減少する今後の局面においては、選択と集中、重点化の視点により、つくったもの、いまあるものを「活かす」ことにより、都市としての質的な向上を目指す方向へと転換していくことが求められています。</p> <p>人口減少、少子高齢化の進展、目まぐるしく変化する社会情勢に柔軟に対応するため、基本構想では、土地利用の基本的な方向性を示し、具体的な土地利用の方針や計画については、基本計画や、都市計画マスタープラン等の個別計画に位置づけ、本市の特性に応じた計画的な土地利用を推進します。</p>	<p>「本市は、北部に緩やかな丘陵地帯が連なり、南部には雄大な木曾川が流れ、中央部の市街地を桜並木とともに清流が流れる美しい自然環境に恵まれた都市です。土地は、市民が快適な生活を送り、自然や歴史・文化を守り、育み、地域の活力を生み出す舞台であるとともに、生活の基盤となる限りある大切な資源です。</p> <p>人口減少に伴い土地需要が減少する中、これからの土地利用は、<u>選択と集中、重点化の視点から</u>、つくったもの、いまあるものを「活かす」ことにより、都市としての質的な向上を目指すことが引き続き求められています。基本構想では、土地利用の基本的な方向性を示し、具体的な土地利用の方針や計画については、基本計画や、都市計画マスタープラン等の個別計画に位置づけ、本市の特性や実情に応じた計画的かつ戦略的な土地利用を推進します。」に修正</p>	<p>・選択と集中を早期にすすめる必要がある。</p> <p>・「本市の特性と実態に応じた計画的かつ戦略的な土地利用を推進します。」としてはどうか。</p> <p>※意見・提案を踏まえ修正</p>
30	25頁	第1編 基本構想 5 土地利用の基本的な考え方 ■住みたい、住み続けたい、住み続けたい、住んでみたいと思われたい土地利用	<p>景観・歴史・文化など地域の資源や個性を大切にするとともに、それぞれの地域特性にあわせて良好な住環境を拡充してきたこれまでの計画と調和のとれた土地利用を目指します。それに加え、様々な災害から市民生活を守るため、防災基盤の整備にも十分配慮し、住み続けたい、住んでみたいと思われたい土地利用を進めます。</p>	<p>「各務原アルプスや名勝木曾川などの豊かな自然環境を保全するとともに、歴史・文化などの地域資源や個性を次世代に継承し、それぞれの地域特性にあわせて良好な住環境と調和のとれた土地利用を目指します。都市機能や防災機能、都市緑化の推進に努め、<u>ずっと住み続けたい、住んでみたいと思われたい土地利用を進めます。</u>」に修正</p>	<p>※次世代への継承、都市機能、都市緑化について記載</p>
31	25頁	第1編 基本構想 5 土地利用の基本的な考え方 ■人や地域がつながる土地利用	<p>都市活力の源となる人や産業の交流を活性化するためには、市内のみならず、県内や愛知などの広域を結ぶネットワークを形成することが重要です。都市の骨格を形成する交通網の整備、これに加えて本市の強みの1つである産業を中心とした土地利用や、不足する商業系の土地利用の充足など、それぞれを連携して強化することにより、人や地域がつながる土地利用を進めます。</p>	<p>「市内のみならず、県内や愛知県などの広域を結ぶネットワークを形成する交通網の<u>充実を図る</u>ことで、「ヒト、モノ、コト」の動きを活発にし、本市の強みの1つである「ものづくり」をさらに強固なものにする<u>とともに、商業・観光拠点を充足させる土地利用を目指します。これらの交通基盤と産業基盤を強化し連携させることで、人や地域がつながる土地利用を進めます。</u>」に修正</p>	<p>※産業、商業、観光について記載</p>
32	25頁	第1編 基本構想 5 土地利用の基本的な考え方 ■未来に向けた計画的な土地利用	<p>■継続可能で計画的な土地利用</p> <p>土地利用を進める上で、目的に応じたゾーニングや、地域別の課題に応じた整備方針については、都市計画法に基づく都市計画マスタープランを中心に、土地利用規制に関する農業振興地域の整備に関する法律や森林法などのそれぞれの規制法に基づく個別計画において具体的な計画として定め、横断的な調整が必要となった場合は、総合的な見地から本構想の方向性を軸に計画的な調整を推進します。</p>	<p>「■<u>未来に向けた計画的な土地利用</u></p> <p>人口減少、少子高齢化の進展など、目まぐるしい社会経済情勢の<u>変化や気候変動に柔軟に対応するために、地域特性にあわせた目的や整備方針は、都市計画マスタープランを中心とした、各個別計画において具体的な計画として定め、持続可能な土地利用を目指します。本構想の方向性を軸に、「いこい・にぎわい・くらし・しごと・ふれあい」をバランスよく配置・誘導し、未来に向けた計画的な土地利用を進めます。</u>」に修正</p>	<p>・目まぐるしく変化する、気候変動も常に注視が必要。</p> <p>※意見・提案を踏まえ修正</p>